

開催概要  
第6回 日本腹膜播種研究会シンポジウム

会期：令和7年10月15日（水曜日）10：30～15：10

会場：ビジョンセンター横浜みなとみらい

神奈川県横浜市西区みなとみらい 3-6-1

みなとみらいセンタービル 7F

Tel: 03-6262-3553（受付窓口）

（エスカレーターで3階までお進みいただいた後、エレベーターにて7階までお上がりください）

プログラム

10：30～10：35

開会の辞 五井孝憲（福井大学 第一外科）

10：40～12：00

シンポジウム（@講演時間 20分）

司会：今野元博（近畿大学 外科）

司会：長尾昌二（岡山大学医歯薬学総合研究科 周産期医療学講座）

[SY-1] Chao Yan（上海交通大学）

『Progress of the DRAGON series of studies on NIPS treatment for gastric cancer peritoneal metastasis』

[SY-2] 鍛 利幸（滋賀県立総合病院 外科）

『腹膜切除/腹腔内温熱化学療法（CRS/HIPEC）に関する日本と海外のガイドラインの相違』

[SY-3] 吉原 雅人（名古屋大学医学部附属病院 産婦人科）

『癌関連中皮細胞の分子基盤と可逆的制御に基づく難治性癌腹膜播種克服への新規治療戦略開発』

[SY-4] 衛藤 剛（大分大学消化器外科/グローバル感染症研究センター）

『腫瘍溶解性レオウイルスを用いた胃癌腹膜転移に対するOncolytic Virotherapyの開発』

12 : 10～13 : 10

ランチョンセミナー（ミヤリサン製薬株式会社）

司会：五井孝憲（福井大学 第一外科）

演者：馬場祥史（東京大学 臓器病態外科学分野 消化器外科学）

『食道がんと口腔内細菌』

13 : 20～15 : 05

ワークショップ (1) (@発表時間 13 分、質疑応答 2 分)

司会：里井壯平（関西医科大学 胆膵外科）

[WS-1-1] 斎藤 晶（自治医科大学 消化器一般移植外科）

『胃癌の腹膜播種結節における Claudin18.2 の発現』

[WS-1-2] 合田良政（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 外科）

『大腸癌腹膜転移に対する診査腹腔鏡の役割』

[WS-1-3] 林 真路（名古屋大学 消化器・腫瘍外科）

『腹膜播種を有する膵癌症例に対する腹腔内投与併用化学療法の治療効果  
～多施設後ろ向き研究による全身化学療法との比較検証結果～』

ワークショップ (2) (@発表時間 13 分、質疑応答 2 分)

司会：石原聡一郎（東京大学 腫瘍外科）

[WS-2-1] 水本明良（淡海医療センター 消化器外科・腹膜播種センター）

『大腸癌腹膜播種における P 分類と peritoneal cancer index ならびに  
HIPEC の意義』

[WS-2-2] 室野浩司（東京大学 腫瘍外科）

『腹膜播種を伴う大腸癌に対する腹腔内パクリタキセル併用化学療法』

[WS-2-3] 松宮美沙希（自治医科大学附属病院 消化器一般移植外科）

『胃癌腹膜播種に対する腹腔内化学療法の抗腫瘍効果への腹腔内活性化  
好酸球の関与』

[WS-2-4] 森川充洋（福井大学 第一外科）

『虫垂原発腹膜偽粘液腫に対する腫瘍減量手術（CRS）  
+腹腔内温熱化学療法（HIPEC）の治療成績』

15 : 05～15 : 10

閉会の辞

事務局：福井大学医学部 第一外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科、小児外科）

小練研司、大田ひろみ

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

TEL: 0776-61-8375/FAX:0776-61-8113

E-mail: [surg1@ml.u-fukui.ac.jp](mailto:surg1@ml.u-fukui.ac.jp)